

エコアクション21

環境経営レポート

(活動期間) 2023年5月～2024年4月



西日本オートメーション株式会社 長崎第二テクニカルセンター

令和5年12月22日稼働

NAC

西日本オートメーション株式会社

発行日：2024年6月17日

目 次

	(頁)
1 会社概要	P 3
2 対象範囲	P 4
3 環境経営方針	P 5
4 環境経営目標	P 6
5 環境経営計画	P 7
6 環境実績	P 8～9
7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	P 10
8 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P 11
9 代表者による評価と見直し	P 11

1 会社概要

商号	西日本オートメーション株式会社
代表者名	代表取締役 小貫 順
所在地	■本社 福岡県福岡市博多区堅粕4-23-12 TEL 092-472-2909 FAX 092-472-2900 ■長崎テクニカルセンター 長崎県諫早市津久葉町6-73 中核工業団地内 TEL 0957-25-0750 FAX 0957-25-0950 ■北九州営業所 福岡県北九州市八幡西区陣原5丁目5番5号 TEL 093-695-7710 FAX 093-695-7712
連絡先	環境管理責任者：大石 拓也 メール ntc@nac ltd. co. jp 住所、TEL、FAXは上記 長崎テクニカルセンターと同じ
	環境担当者：小貫 直子 メール f2.desktop@nac ltd. co. jp 住所、TEL、FAXは上記 本社と同じ
事業の内容	有効期間 2020年1月29日から2025年1月28日まで 国土交通大臣許可（特・般）第16284号 (特定) ■電気工事業 (一般) ■電気通信工事業 ■機械器具設置工事業 ■鋼構造物工事業 ■水道施設工事業 ■土木工事業 ■各種盤の設計・製作

活動規模	2021年度	2022年度	2023年度
売上（万円）	87,818	99,452	152,118
工事件数（件）	310	293	302
従業員数（人）	34	39	44
述べ床面積（㎡）	2495.9 （本社 346.09） （センター 2027.26） （北九州 122.550）	2495.9 （本社 346.09） （センター 2027.26） （北九州 122.550）	2495.9 （本社 346.09） （センター 2027.26） （北九州 122.550）

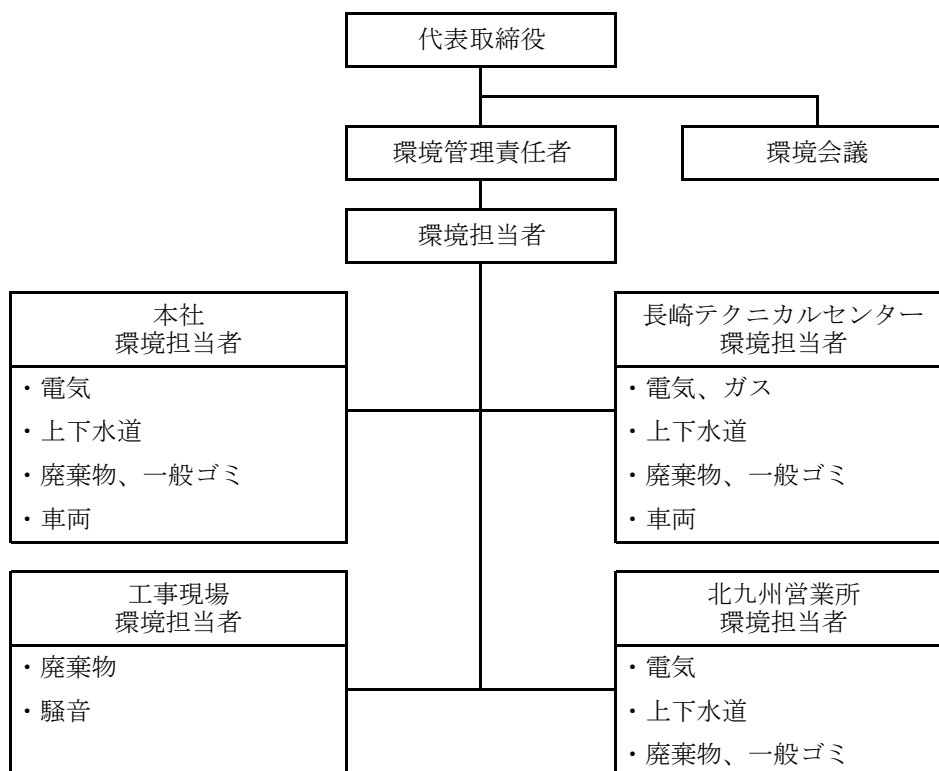
2 対象範囲

(1) 認証・登録範囲

対象事業活動：全事業・全組織

(2) レポートの対象期間及び発行日：表紙に記載

(3) エコアクション21実施体制図



(4) 役割・責任及び権限一覧表

職 位	役 割 ・ 責 任	権 限
代表取締役	①EA21の最高責任者 ②環境経営方針の制定、見直し ③EA21システムの承認 ④EA21の経営資源の確保 ⑤環境管理責任者の任命 ⑥EA21全体の評価と見直し	EA21の確立・実行・維持・改善に関する全権限
環境管理責任者	①代表取締役の代行 ②EA21システムの確立・実施・維持・改善	EA21の確立・実行・維持・改善の指示に関する権限
環境担当者	①法規制等の把握及び監視測定、届出等 法規制等の全て ②EA21マニュアルの見直し・改定 ③環境経営レポートの作成・維持 ④環境経営計画の実績把握 ⑤教育・訓練の実施及び記録 ⑥その他環境管理責任者の支援	環境管理責任者の指示により、左記に関する事項の全部署に展開する権限
環境会議	①環境経営計画及び実績の確認・評価	
社員	手順・ルールを遵守する責任	
共通	①環境改善の提案 ②当該環境改善の実施	

3 環境経営方針

環境経営方針

《環境理念》

昭和54年の設立以来「制御」することをコンセプトに様々な企業や工場における自動化いわゆるFA(Factory Automation)の分野、廃水処理施設、処理プラントのプロセス制御、上下水道の計測、監視、制御などを数多く手がけてまいりました。
こうした活動を行ううえで、限りあるエネルギー資源を大切に使うと共に、自然環境の保全を一人一人が把握し、積極的に地球環境に配慮した事業活動を行う企業を目指して環境経営システム（EA21）を構築し、これに積極的に取り組みます。

《環境行動指針》

1. 事業活動に伴う環境負荷を低減するために、次の取組を行います。
 - ① 電気、ガス、ガソリンの使用に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ② 節水による水の使用量の削減
 - ③ 紙の使用量の削減
 - ④ 3 R活動の推進及び廃棄物の削減
 - ⑤ 環境に配慮した製品及びサービスの提供
 - ⑥ 地域ボランティア活動の参加
2. 環境経営目標と環境経営計画を定め、定期的な見直しと、継続的な改善に努めます。
3. 環境関連法規則を遵守します。
4. 環境保全への取組みを環境経営レポートとして、とりまとめ公表いたします。

平成23年7月1日 制定
令和元年5月1日 改定

西日本オートメーション株式会社
代表取締役 小貫 順

4 環境経営目標

■2024年度および中期目標（全体）

項目	単位	【基準】※2	(目標) 2023年度 45期	(目標) 2024年度 46期	(目標) 2025年度 47期	(目標) 2026年度 48期
①二酸化炭素排出量の削減※1	kg-CO2	97,043	96,075	95,595	95,117	94,641
①-1 電力	kWh	80,179	79,379	78,982	78,587	78,194
①-2 L P ガス (新工場エアコン)	kg	2,999	2,969	2,954	2,939	2,925
①-3 ガソリン	L	22,798	22,571	22,458	22,345	22,234
①-4 軽油	L	2,842	2,814	2,800	2,786	2,772
② の 削減 量③ の紙 削減 使用	水	m ³	266	263	262	261
③ の紙 削減 使用	紙	枚 (A4換算)	92,858	91,932	91,472	91,015
④ の削減 廃棄物	一般廃棄物	kg	2291	2,268	2,257	2,246
	産業廃棄物	kg	9262	9,170	9,124	9,078
⑤ エコ 活動 での	エコ電線を使用した盤の数	面	70.0	71	71	71
⑥ 社会 貢献	ボランティア 清掃活動の参加	回	4	4	4	4

※44期非表示にしています

※1:電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力㈱2018年度実績 調整後排出係数 0.347kg-CO2/kWhを使用。

※2:基準は、2021年度【43期】を使用。

5 環境経営計画

取組事項		担当	内容
① 二酸化炭素排出量の削減	電力 LPガス（新工場エアコン）	本社 北九州営業所 長崎テクニカルセンター	①エアコンは冷房26℃～28℃、暖房20℃以下に設定する。 ②ブラインドやカーテンを利用し、熱の出入りを調整する。 ③休憩時の照明の消灯とパソコンの電源オフ。 ④トイレの電気消し忘れ注意する。
	ガソリン 軽油	本社 北九州営業所 長崎テクニカルセンター	①急発進・急ハンドル・急加速・急停車は厳禁。 ②無駄な荷物を載せたまま走らない。 ③アイドリングを止める。 ④乗り合いできないか打診する。
②節水活動		本社 北九州営業所 長崎テクニカルセンター	①日々、節水を意識する。 ②蛇口はきちんと最後まで閉める。
③紙使用量		本社 北九州営業所 長崎テクニカルセンター	①印刷する前にプレビューでミスがないか確認する。 ②両面印刷または裏紙を利用し印刷する。 ③電子メディアを活用し、ペーパーレスに努める。
④廃棄物の削減		本社 北九州営業所 長崎テクニカルセンター	①“3R”を一人一人が意識する。 ・Reuse（再使用：使えるものは繰り返し使う） ・Reduce（発生抑制：ごみを出さない） ・Recycle（再生利用：再使用できないものは再利用） ②ゴミの分別を徹底する。 ③鉄くずや新聞紙等、リサイクル化に努める。
⑤本業でのエコ活動		本社 北九州営業所 長崎テクニカルセンター	①設計時に部品の省エネ製品を選定する。 ②自社開発の電線測長切断装置を利用し、棄材をなくす。 ③有害物質を含まない物質や再生可能な材質の製品を使う。
⑥社会貢献		本社 北九州営業所 長崎テクニカルセンター	①地域のボランティア活動に参加する。 ②“5S”を一人一人が意識する。 整理・整頓・清掃・清潔・躰け

6 環境実績

(1) 2023年度（2023年5月～2024年4月）の実績

取組項目		単位	目標	実績	達成率 (%)
①二酸化炭素排出量の削減※1		kg-CO2	96,558	114,581.90	84.27%
	①-1 電力※2	kWh	79,778	99,970.00	79.80%
	①-2 L P ガス	kg	2,984	2,862.62	104.24%
	①-3 ガソリン	L	22,684	26,620.39	85.21%
	①-4 軽油	L	2,828	3,699.67	76.44%
②水使用量の削減	水	m ³	265	346.00	76.59%
③紙使用量の削減	紙	枚	92,394	222,953	41.44%
④廃棄物の削減	一般廃棄物	kg	2,291	1,136	201.67%
	産業廃棄物	kg	9,262	9,561	96.87%
⑤本業でのエコ活動	エコ電線を使用した盤の数	面	70	113	161.43%
⑥社会貢献	ボランティア活動の参加	回	4	6	150.00%

※1：購入電力の二酸化炭素排出係数は0.347kg-CO₂/kWhとして算出（2018年度九州電力）

※2：太陽光発電使用量は除く

<評価>

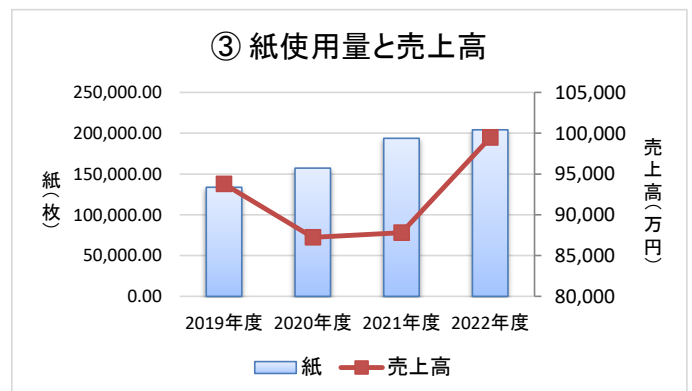
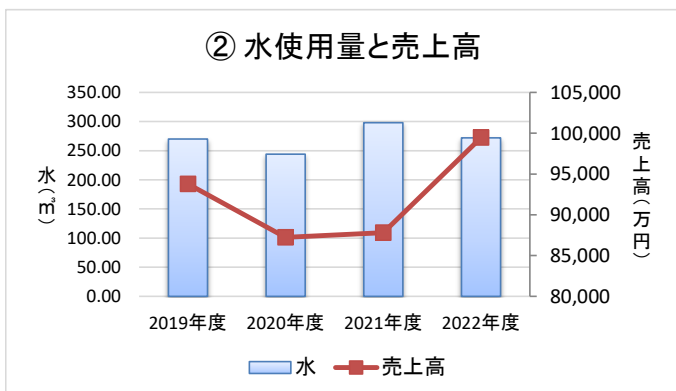
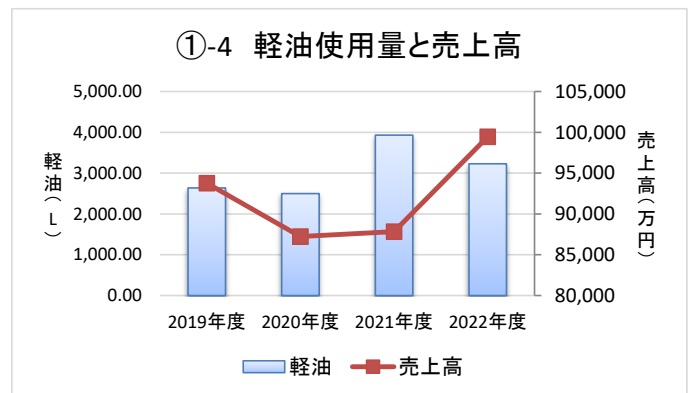
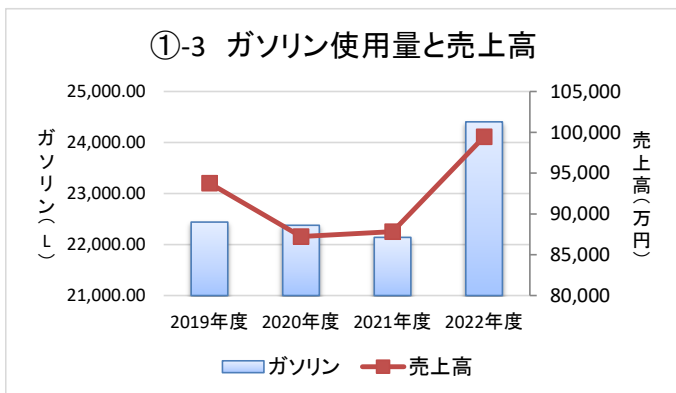
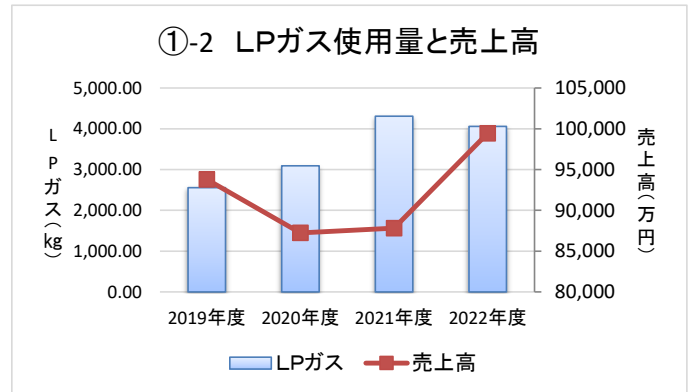
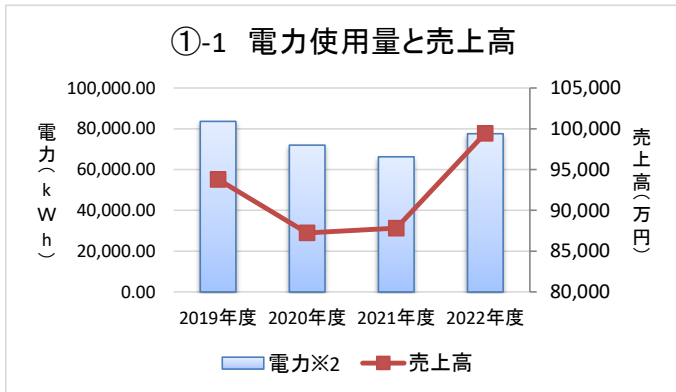
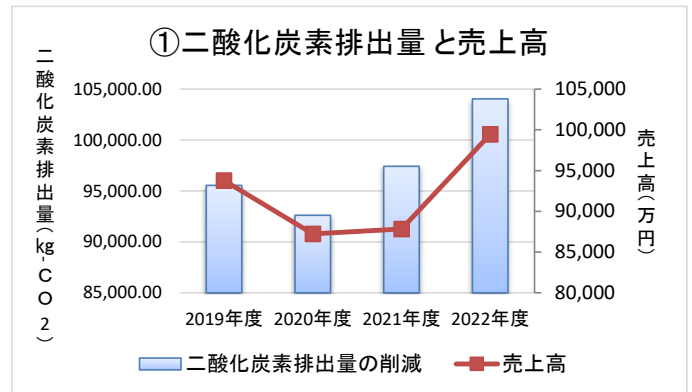
- ・電力の使用量について、電気代増・社員数増の中、社員の方々が工夫して取り組んだ。
- ・紙の使用量については、元請工事が多く書類が増えた。
- ・社会貢献については、本年度の地域の一斉清掃活動を6回行った。

1回の清掃活動に弊社から3～5名参加しております。

その他、気になる所は随時清掃するよう心がけております。

(2) 環境実績の推移

2019年度から2022年度の環境実績の推移です。
年度は5月～翌年4月とします。



取組項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
① 二酸化炭素排出量の削減 ※1	kg-CO2	95,544.60	92,608.70	97,416.79	104,040.00	114,581.90	
	①-1 電力※2	kWh	83,621.00	71,972.00	66,247.00	77,575.00	99,970.00
	①-2 L P ガス	kg	2,555.62	3,091.75	4,307.88	4,058.02	2,862.62
	①-3 ガソリン	L	22,439.87	22,376.96	22,139.95	24,405.00	26,620.39
	①-4 軽油	L	2,635.95	2,497.67	3,930.49	3,227.92	3,699.67
②節水活動	水	m³	270.00	244.00	298.00	272.00	346.00
③紙使用量の削減	紙	枚	133,715.00	157,179.00	193,723.00	204,140.00	222,953.00
売上高	万円	93,777	87,232	87,818	99,452	152,118	

※1：購入電力の二酸化炭素排出係数は0.347kg-CO₂/kWhとして算出（九州電力㈱ 2018年度 調整後排出係数）

※2：太陽光発電使用量は除く

7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組事項		内容	評価※	結果と次年度の取組内容
① 二酸化炭素排出量の削減	電力 LPガス	①エアコンは冷房26℃～28℃、暖房20℃以下に設定する。 ②ブラインドやカーテンを利用し、熱の出入りを調整する。 ③休憩時の照明の消灯とパソコンの電源オフ。	×	目標数値には至らなかったが、取組としては、各自、意識して取り組むことができた。次年度も引き続き、取り組む。 【電力・LPガス】 冷暖房は、気温が上がってくる午後につけたりなど、工夫して取り組んだ。
	ガソリン 軽油	①急発進・急ハンドル・急加速・急停車は厳禁。 ②無駄な荷物を載せたまま走らない。 ③アイドリングを止める。 ④乗り合いできないか打診する。	×	【ガソリン・軽油】 目標値には至らなかったがエコドライブを各自、意識して取り組むことができた。
②節水活動		①日々、節水を意識する。 ②蛇口はきちんと最後まで閉める。	○	各自、意識して取り組むことができた。次年度も継続して取り組む。
③紙使用量		①印刷する前にプレビューでミスがないか確認する。 ②両面印刷または裏紙を利用し印刷する。 ③電子メディアを活用し、ペーパーレスに努める。	×	目標値には至らなかった。印刷の必要性を見直しを意識して各自取り組む。
④廃棄物の削減		①“3R”を一人一人が意識する。 ・Reuse（再使用：使えるものは繰り返し使う） ・Reduce（発生抑制：ごみを出さない） ・Recycle（再生利用：再使用できないものは再利用） ②ゴミの分別を徹底する。 ③鉄くずや新聞紙等、リサイクル化に努める。	○	日頃より3Rを心がけ取り組む事が出来ている 福岡の本社ではゴミの分別を誤ることなく、しっかり意識して取り組むことができています。
⑤本業でのエコ活動		①設計時に部品の省エネ製品を選定する。 ②自社開発の電線測長切断装置を利用し、棄材をなくす。 ③有害物質を含まない物質や再生可能な材質の製品を使う。	○	各自、可能な範囲で取り組むことができ、次年度も引き続き、取り組む。
⑥社会貢献		①地域のボランティア活動に参加する。 ②“5S”を一人一人が意識する。 整理・整頓・清掃・清潔・躰け	○	ボランティア活動については、すべての清掃活動に参加できた。 日頃から5Sを心がけ行動できた。今後もボランティア活動の回数ではなく日頃からの心がけと清掃内容を重視したいと思います。

※ 評価・・・ ○：できた △：あまりできなかった ×：できなかった

■■地域清掃活動の様子■■



8 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1) 対象となる主な環境関連法
法令リスト

法令の名称	法令等の遵守すべき内容	自社での取組	法令違反の有無	環境管理責任者
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条：事業者の責務 第12条：産業廃棄物処理委託 管理表（マニフェスト）の交付・管理・報告 産業廃棄物の保管基準 第16条：不法投棄、不法焼却の禁止	○	無	○
労働安全衛生法	第59条：雇い入れ時及び作業変更時の教育 則43, 44：健康診断	○	無	○
消防法	第8条：消防管理者の任命届出 避難路確保、施設の防災性能保持等 41条：防火管理者任務違反、危険物管理違反 消防用設備設置違反	○	無	○
下水道法	法12の2、法46の2 排出口での排水基準違反等	○	無	○
建設業法	全文 建設業許可の有効期限確認	○	無	○

2) 違反、訴訟等

法律などの遵守状況のチェックに記載のように環境関連法規への違反はありません。
尚、関係当局による違反の指摘も過去3年間受けておりません。

2024年6月3日

代表取締役
環境管理責任者

小貫 順
大石 拓也

9 代表者による評価と見直し

- ・工場生産数が増し、大幅に設備使用料も増え環境への負荷が変わる1年でした。
そのような時は、普段からの取組を注意して行く事が重要である。
- ・社員増・ガソリン代増・電気代が上がるという現象もあり、環境経営目標削減率の変更を行う事で社員全員が負担なく継続して取り組む事ができる用、今後も環境に配慮した行動に繋がるよう務める。

2024年6月3日

代表取締役

小貫 順